

# ネクスペースピラー&ルーフ(9尺屋根用)取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

## 注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

### ◎設置場所・位置の注意事項

- 本説明書上の部材、部品は「ネクスペース・ピラー&ルーフ」専用部品です。他商品へは取付できませんので注意してください。

### ◎施工時の注意事項

- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

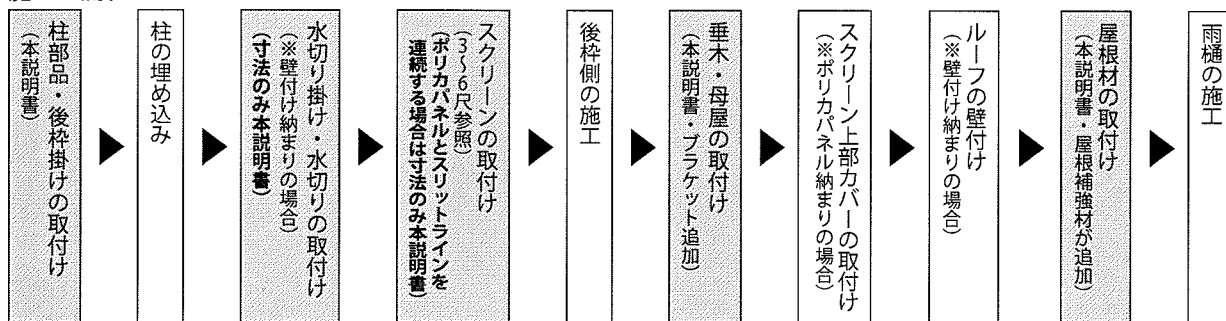
## 注意

- 地耐力が30kN/㎡未満の地盤には設置しないでください。
- この商品は一般地域用です。[積雪強度：600N/㎡]積雪の多い地域には取付けないでください。
- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因になります。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本体に雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。

●この取付説明書では、「ネクスペース・ピラー&ルーフ」の出巾7尺(特注)・8尺(特注)・9尺のみに関わる施工方法を説明しています。(※下記  で示しています。)

●それ以外の施工方法は、「ネクスペース・ピラー&ルーフ」3～6尺と同様ですので、3～6尺に付属の取付説明書[ME-2051]にしたがってください。(※下記  で示しています。)

### ◎施工の流れ



●この取付説明書は、柱側を「外側」、屋根側を「内側」として説明しています。また、「左・右」は柱側から見た場合を示しています。

## ■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき(同梱されているもののみ)商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店		TEL ( )	-
販売店		TEL ( )	-

## 新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ  
<http://www.shinnikkei.co.jp>

## 梱包明細

- 施工前に、部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容	表内の（ ）は個数を表しています。
ピラー	標準柱（9尺用）	柱（1）・柱キャップC（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）・アンカー棒（1）	
	スクリーン取付柱（9尺用）	柱（1）・柱キャップB（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）・アンカー棒（1）	
ルーフ	垂木・母屋（9尺用）	端部用	垂木（2）・垂木カバー（2）・押さえ材（4）・母屋（3）・前枠用母屋（1）・端部用母屋（左右各4） 母屋カバー（7）・前枠用母屋カバー（4）・端部用母屋カバー（16）・吊り材（2） 屋根組立部品セット（1）[吊り材端部キャップ（2）・φ4×12トラスタッピン3種（4）・母屋固定部品（8） φ4×12トラスタッピン3種（8）・バッカー材（8）・垂木キャップ（2） φ4×12トラスタッピン3種（6）・φ4×12皿タッピン3種（2）・φ4×20トラスタッピン3種（4） φ4×20トラスタッピン3種（32）・φ4×10トラスタッピン2種（56） 屋根材押さえ部品（3）・φ4×16セルフドリリングビス（6）・母屋端部キャップ（8） φ4×12トラスタッピン3種（8）・端部母屋補強部品（8）・屋根補強材取付ビス（2）]
		中間用	垂木（1）・垂木カバー（1）・押さえ材（2）・母屋（3）・前枠用母屋（1） 母屋カバー（7）・前枠用母屋カバー（4）・吊り材（1） 屋根組立部品セット（1）[吊り材端部キャップ（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）・母屋固定部品（4） φ4×12トラスタッピン3種（4）・バッカー材（1）・垂木キャップ（1） φ4×12トラスタッピン3種（3）・φ4×12皿タッピン3種（1）・φ4×20トラスタッピン3種（2） φ4×20トラスタッピン3種（16）・φ4×10トラスタッピン2種（28） 屋根材押さえ部品（3）・φ4×16セルフドリリングビス（6）・屋根補強材取付ビス（2）]

## 納まり図

- 施工前に必ず確認してください。



設置場所の地耐力によって基礎寸法が異なります。地耐力を測定し、右表で寸法を確認してください。  
※地耐力に合わない寸法で施工すると、施工不良や破損事故の原因になります。

### ●標準納まり基礎寸法表

(mm)

### ●スクリーン納まり基礎寸法表

(mm)

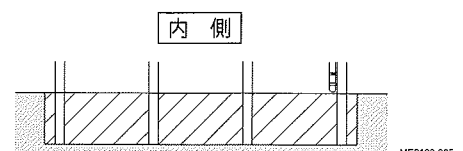
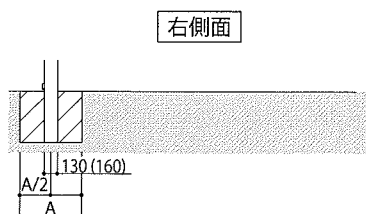
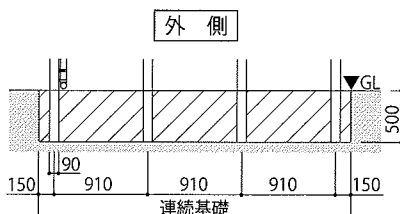
H	地耐力	A × B			H	地耐力	A × B		
		7尺 (特注)	8尺 (特注)	9尺			7尺 (特注)	8尺 (特注)	9尺
H27	30kN/㎡	550 × 連続基礎	650 × 連続基礎	800 × 連続基礎	H27	30kN/㎡	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎	1000 × 連続基礎
	50kN/㎡	400 × 連続基礎	400 × 連続基礎	500 × 連続基礎		50kN/㎡	600 × 連続基礎	700 × 連続基礎	800 × 連続基礎
	100kN/㎡	400 × 400	400 × 500	400 × 600		100kN/㎡	600 × 550	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/㎡	400 × 300	400 × 300	400 × 300		200kN/㎡	600 × 350	600 × 350	600 × 400
H30	30kN/㎡	600 × 連続基礎	700 × 連続基礎	800 × 連続基礎	H30	30kN/㎡	950 × 連続基礎	1000 × 連続基礎	1100 × 連続基礎
	50kN/㎡	400 × 連続基礎	400 × 連続基礎	550 × 連続基礎		50kN/㎡	750 × 連続基礎	800 × 連続基礎	900 × 連続基礎
	100kN/㎡	400 × 450	400 × 500	400 × 600		100kN/㎡	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/㎡	400 × 300	400 × 300	400 × 350		200kN/㎡	600 × 400	600 × 400	600 × 450
H33	30kN/㎡	650 × 連続基礎	750 × 連続基礎	850 × 連続基礎	H33	30kN/㎡	1050 × 連続基礎	1100 × 連続基礎	1150 × 連続基礎
	50kN/㎡	400 × 連続基礎	450 × 連続基礎	600 × 連続基礎		50kN/㎡	850 × 連続基礎	900 × 連続基礎	1000 × 連続基礎
	100kN/㎡	400 × 500	400 × 550	500 × 600		100kN/㎡	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎	600 × 連続基礎
	200kN/㎡	400 × 300	400 × 300	400 × 350		200kN/㎡	600 × 450	600 × 450	600 × 500



納まり図は、独立基礎時の場合を示しています。  
連続基礎時の寸法は下図を参照してください。

### ●連続基礎時

※（ ）内寸法は、スクリーン納まりの場合を示しています。



標準納まり

※本図は、出巾9尺・間口1.5間・H33の場合を示しています。

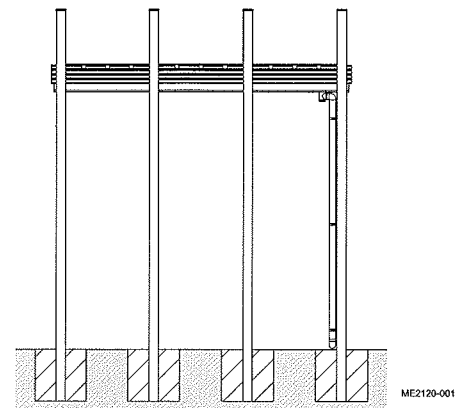
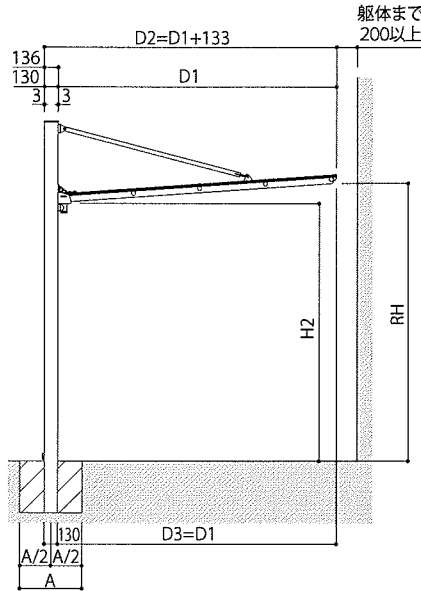
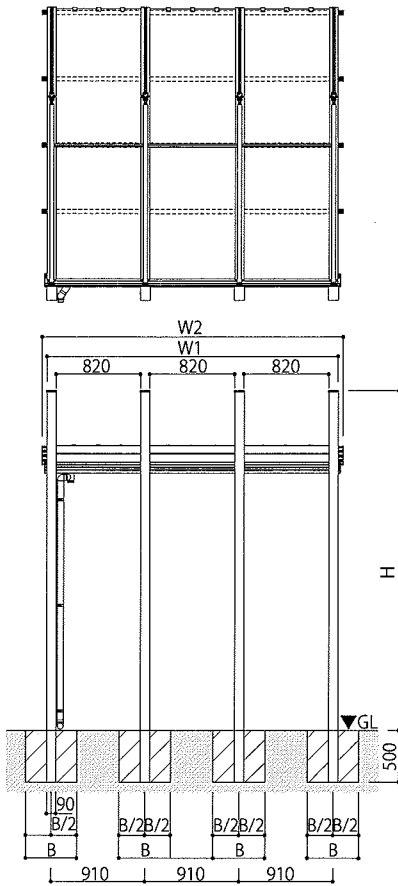


- 間口 0.5 間につき、柱 2 本です。
- 柱移動はできません。

●基本寸法表 (H・D)

(mm)

H	H2	RH			出巾 D	D1・D3	D2	
		7尺	8尺	9尺			標準	スクリーン
H27	1900	2053	2074	2095	7尺	2102	2235	2265
H30	2200	2353	2374	2395	8尺	2401	2534	2564
H33	2500	2653	2674	2695	9尺	2700	2833	2863



ME2120-001

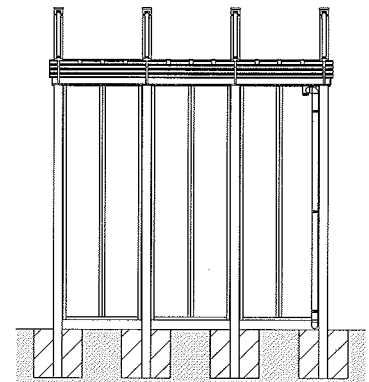
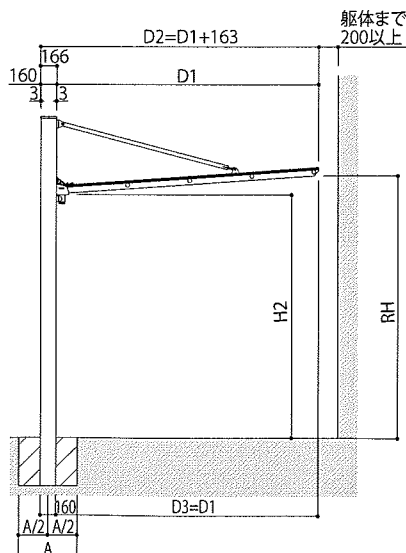
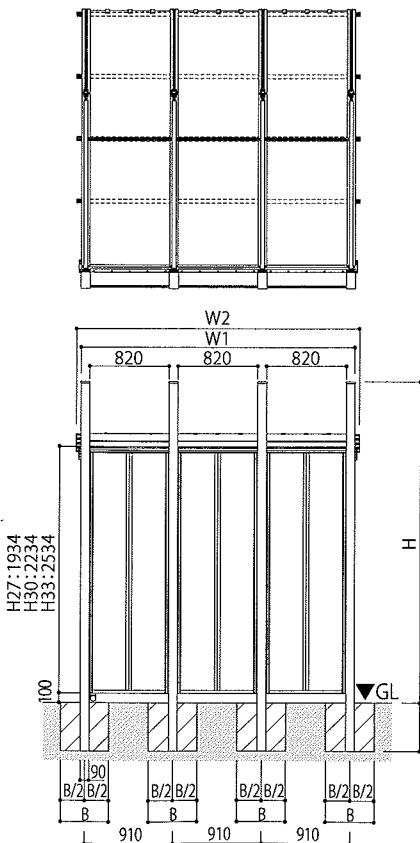
スクリーン (ポリカパネル) 納まり

※本図は、出巾9尺・間口1.5間・H33の場合を示しています。

●基本寸法表 (W)

(mm)

間口	W1	W2
1.0 間	1910	2004
1.5 間	2820	2914
2.0 間	3730	3824
2.5 間	4640	4734
3.0 間	5550	5644
3.5 間	6460	6554
4.0 間	7370	7464



ME2120-002

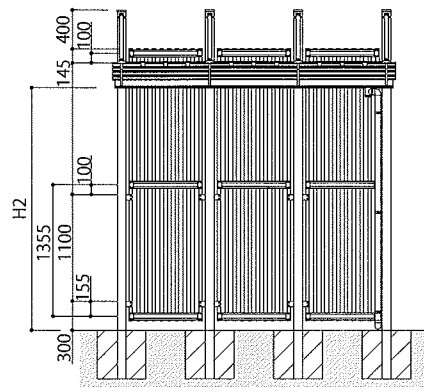
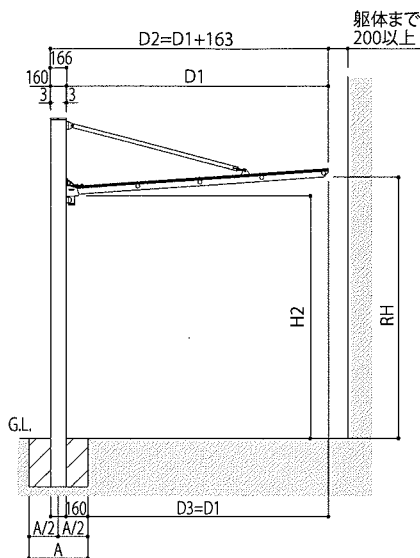
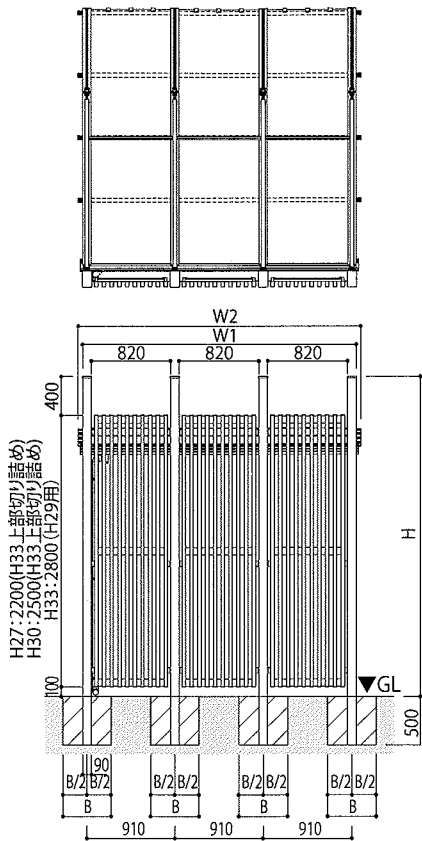
# 納まり図

## スクリーン (スリットライン) 納まり

※本図は、出巾9尺・間口1.5間・H33の場合を示しています。  
 ※基礎寸法は、2ページの「基礎寸法表」を参照してください。

●基本寸法表 (H・D) (mm)

H	H2	RH			出巾 D	D1・D3	D2		D4
		7尺	8尺	9尺			標準	スクリーン	
H27	1900	2053	2074	2095	7尺	2102	2235	2265	2150
H30	2200	2353	2374	2395	8尺	2401	2534	2564	2450
H33	2500	2653	2674	2695	9尺	2700	2833	2863	2750



ME2120-003

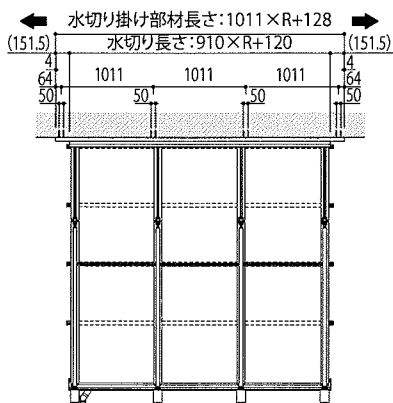
●基本寸法表 (W) (mm)

間口	W1	W2	R	RA
1.0間	1910	2004	2	3
1.5間	2820	2914	3	4
2.0間	3730	3824	4	5
2.5間	4640	4734	5	6
3.0間	5550	5644	6	7
3.5間	6460	6554	7	8
4.0間	7370	7464	8	9

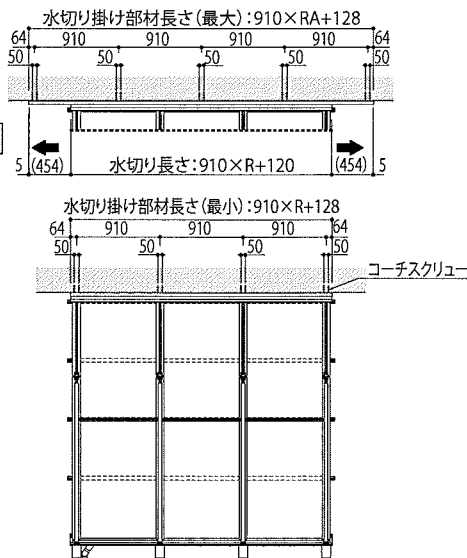
## 躯体壁付け標準納まり

R = 屋根材枚数  
 RA = 垂木本数

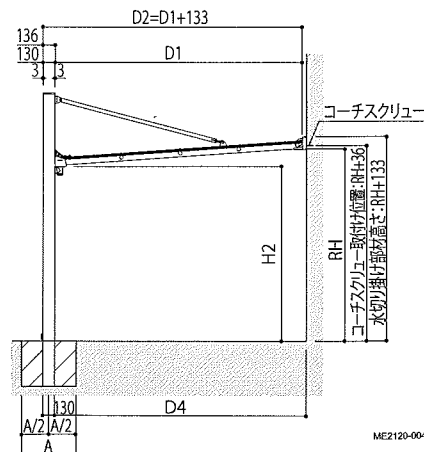
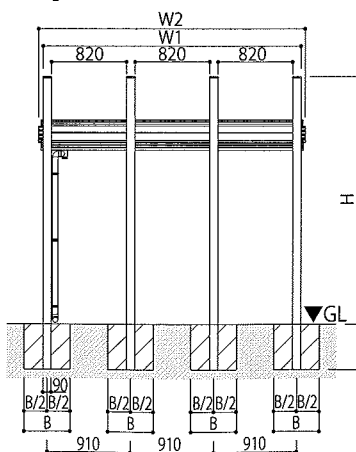
関西間



関東間



※本図は、出巾9尺・間口1.5間・H27・標準納まりの場合を示しています。  
 ※ ←印は移動可能範囲を示しています。  
 ※基礎寸法は、2ページの「基礎寸法表」を参照してください。



ME2120-004

# 1 柱の設置

## 1-1 施工前の確認

### ⚠ 注意

必ず、施工前に地盤の地耐力を確認し、30kN/㎡未満の場合は設置しないでください。



- 設置条件を確認してください。
- 「納まり図」で取付位置と寸法を確認してください。

## 1-2 柱部品・後枠掛けの取付け

① 柱取合パッキンを柱に貼付けてください。



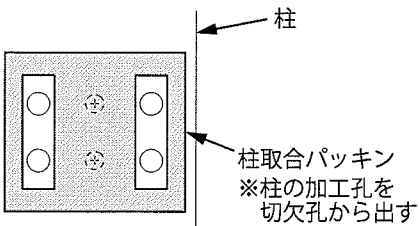
下側の加工孔に貼付けてください。

※上側には後で柱・垂木連結ブラケットを取付ます。



柱の加工孔が全てパッキンの切抜孔から見えるようにしてください。

### ● 柱取合パッキンの取付け

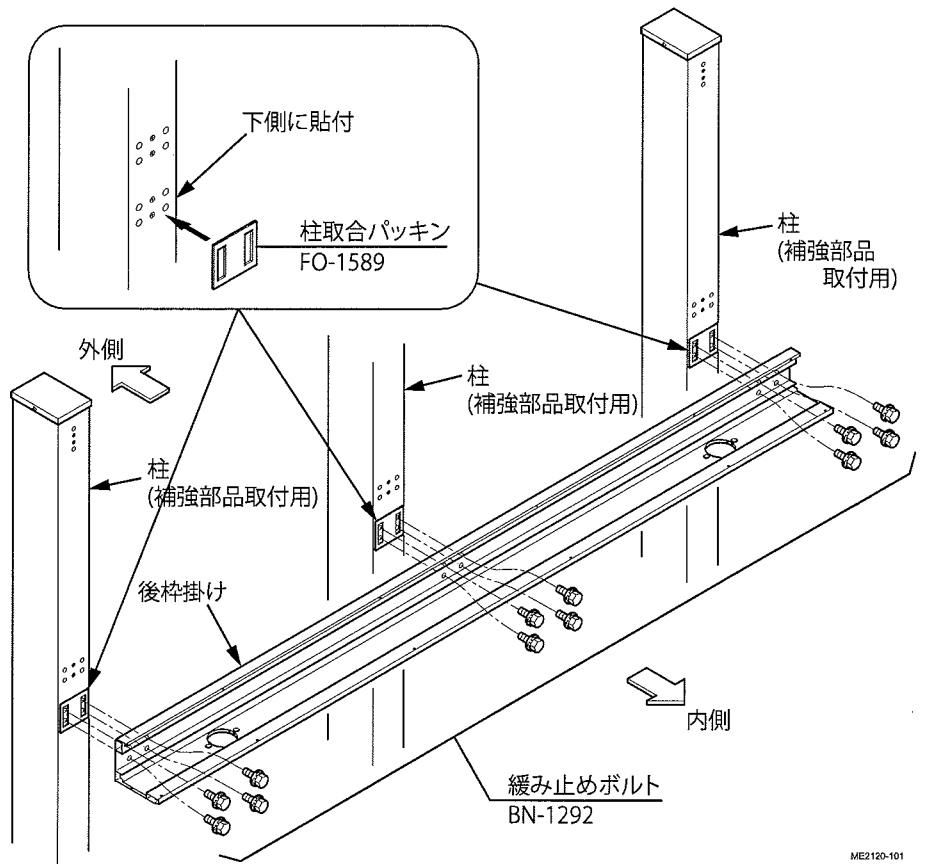


ME2120-104

② 後枠掛けを柱に取付けてください。



巾決め材および柱の位置とレベルを合わせる目安になります。



ME2120-101

## 2 水切り掛け・水切りの取付け (※壁付け納まりの場合)



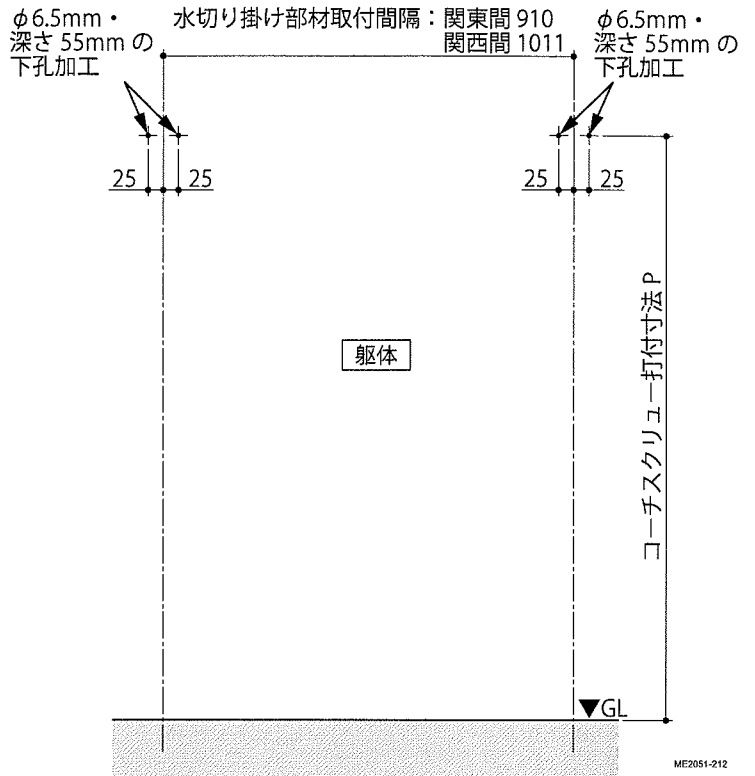
壁付け納まりの場合に参照してください。

- ①「納まり図」を参照して、取付位置を決めてください。
- ②φ6.5mm・深さ55mmの下孔を躯体にあけてください。



- 下孔加工は柱部または梁部に行ってください。壁面に行う場合は、壁の厚さが十分あることを確認してください。
- 下孔は指定以下の寸法にしてください。
- 下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。

### ●下孔加工寸法



### ●寸法一覧表 (mm)

出巾	コーチスクリュー打付寸法P		
	H27 (桁下1900)	H30 (桁下2200)	H33 (桁下2500)
7尺 (特注)	2089	2389	2689
8尺 (特注)	2110	2410	2710
9尺	2131	2431	2731

## 3 スクリーンの取付け

- ①右図 (寸法図) を確認し、[ME-2051] と同じ要領でスリットライン取付部品をスクリーン取付柱に取付けてください。

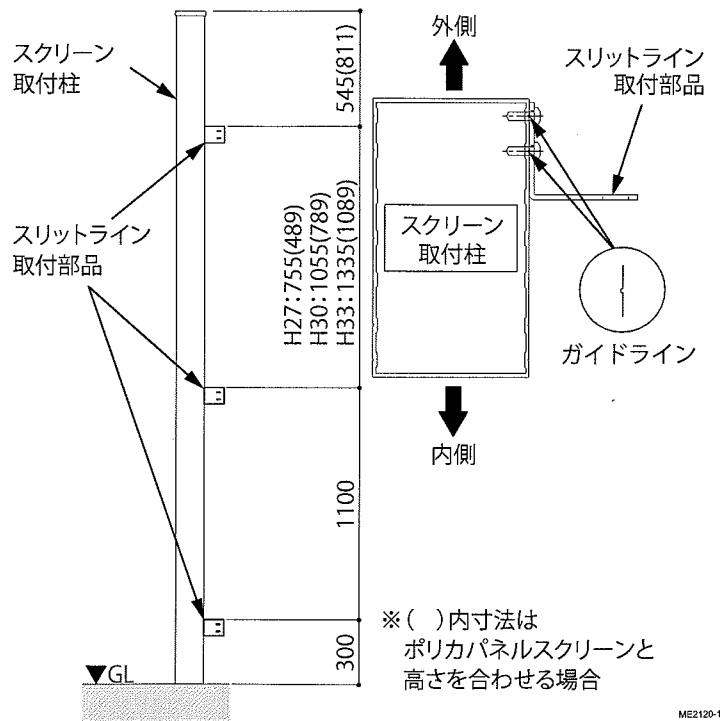


部品の水平・垂直レベルを正確に合わせてください。



ポリカパネルスクリーンと高さを合わせる場合は、一番上のスリットライン取付部品を266mm下げて取付けてください。  
※右図 ( ) 寸法を参照してください。

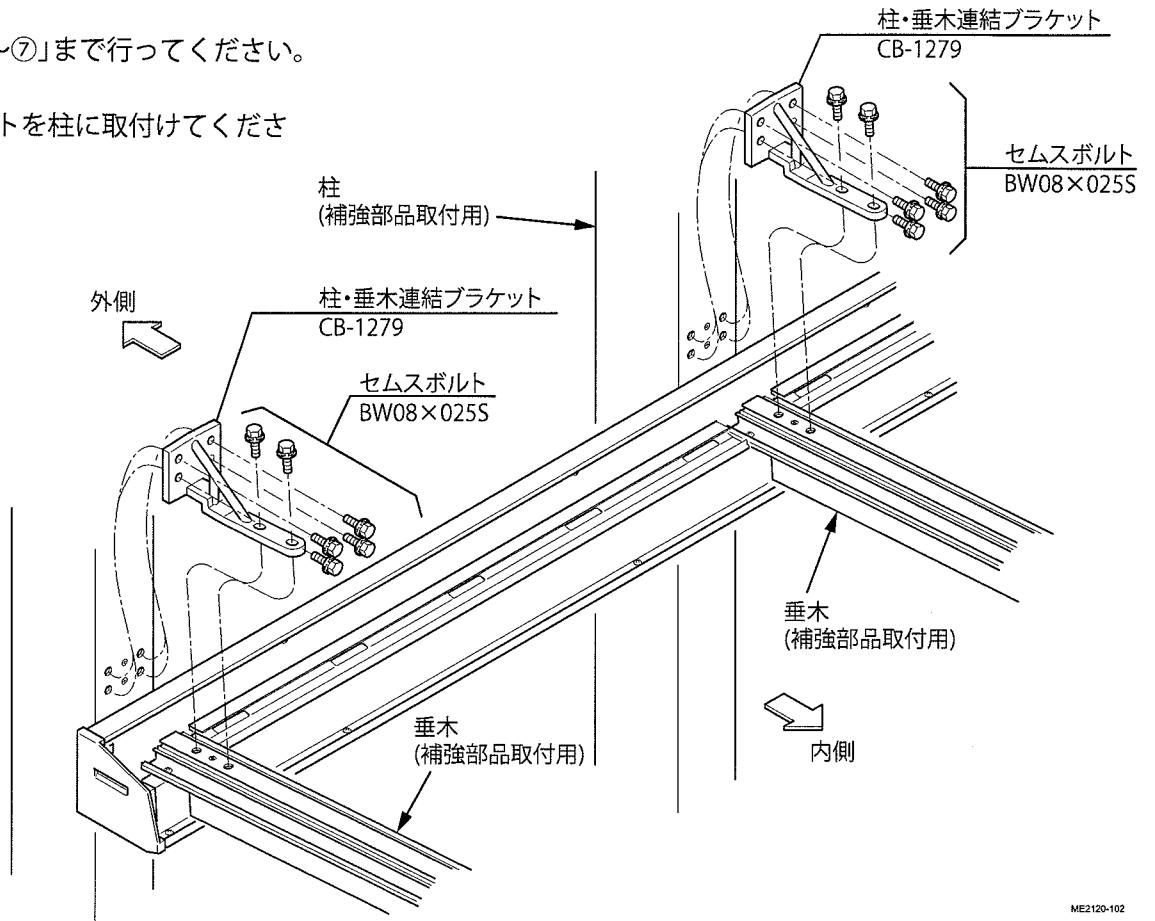
### ●取付寸法図



## 4 吊り材・垂木の取付け

① [ME-2051] の「手順①～⑦」まで行ってください。

② 柱・垂木連結ブラケットを柱に取付けてください。



ME2120-102

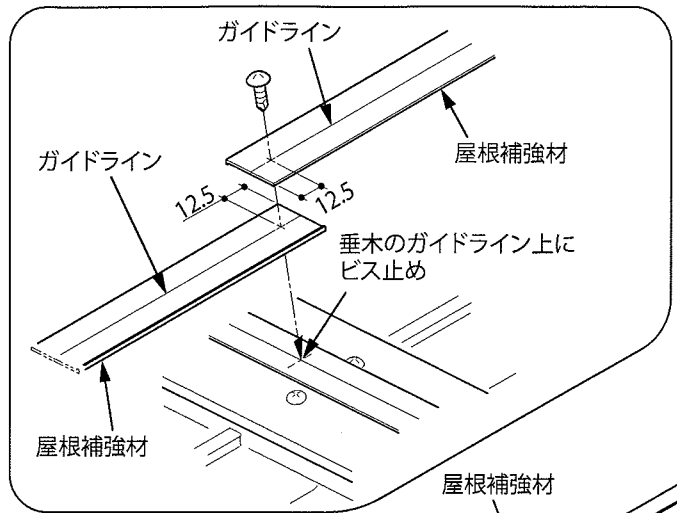
## 5 屋根材・押さえ材・屋根補強材の取付け

①図と [ME-2051] を合わせて参照し、端のSPANから屋根材・押さえ材・屋根補強材を取付けてください。

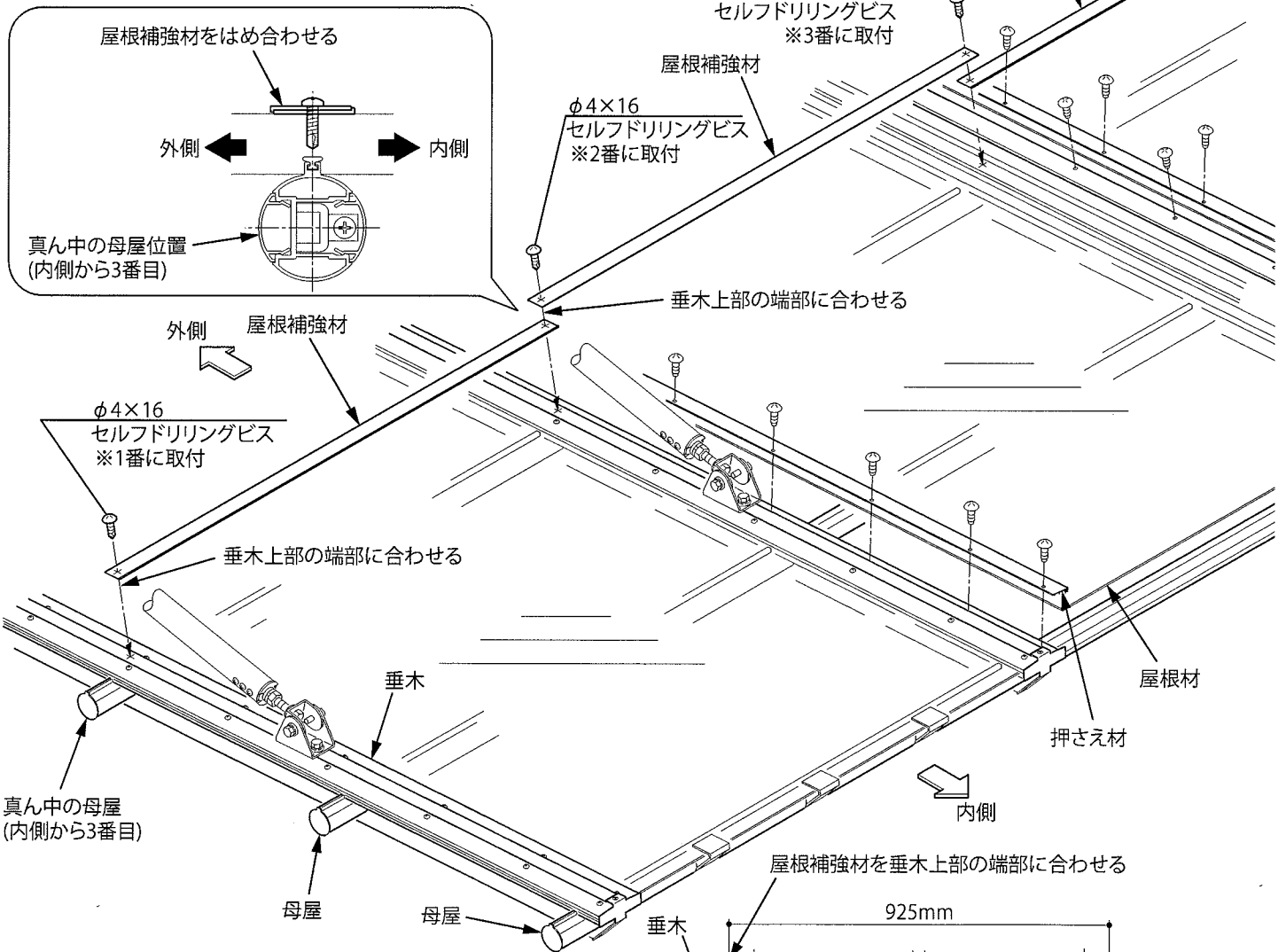


端のSPANから順番に施工してください。

※屋根材を先に取付けると、屋根に乗らないと屋根補強材を取付けることができなくなります。



### ●取付図



●屋根材を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。

●押さえ材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。

※ビスが空回りする恐れがあります。

●ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。

